

これからの津波防災に関する国際シンポジウム

～国連防災世界会議パブリックフォーラム～

共催：国土交通省港湾局
独立行政法人港湾空港技術研究所

日時：2005年1月18日（火）9:30～12:00（受付開始 9:00）

場所：神戸国際会議場 501号室

（英一日の同時通訳あり）

巨大津波による被害は広域かつ甚大になる。津波から人命や財産を守るためには、迅速かつ確かな避難を支援するソフト的な対策と構造物によって守るハード的な対策を、地域の特性に応じて有効に統合する必要がある。このためには、ハード対策の防護能力の定量的な把握、津波被害の事前の推定、津波来襲に先立った情報伝達が大切である。本シンポジウムでは、津波やその被害推定のための数値計算や模型実験、情報伝達等の防災・減災対策について最先端の研究開発を行っている研究者や技術者を世界からお招きし、津波から人命及び財産の損失を軽減させるためのこれからの津波防災・減災技術をパネルディスカッション形式で議論する。

なお、当シンポジウムに先立つ1月17日には、当シンポジウム参加者によるワークショップが同会場で開催されており（本紙反対面参照）、その結果を反映させた議論が行われる。

参加申し込み：下記の連絡先へ1月7日（金）までにお申し込み下さい。

パネラー：

早川哲也氏（国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室専門官）

今村文彦博士（東北大学教授、大学院災害制御研究センター長）

Laura Kong 博士（国際津波情報センター長）

高山知司博士（京都大学教授、防災研究所）

Ahmet Yalciner 博士（トルコミドルイースト工科大学助教授）

Harry Yeh 博士（米国オレゴン州立大学教授）

アルファベット順

司会：富田孝史博士（港湾空港技術研究所高潮津波研究室長）

参加者

Michael Briggs 博士（米国陸軍技術開発研究センター海岸水理研究所）

アルファベット順

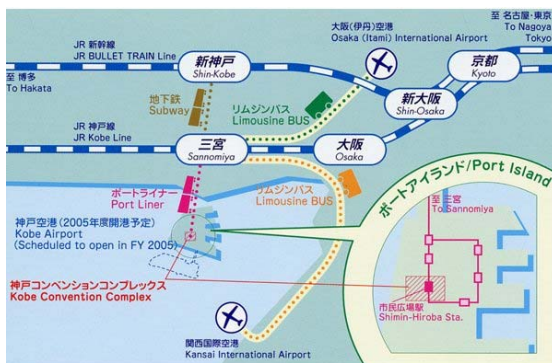
藤間功司博士（防衛大学校教授）

永井紀彦博士（港湾空港技術研究所海象情報研究室長）

下迫健一郎氏（港湾空港技術研究所耐波研究室長）

Solomon Yim 博士（米国オレゴン州立大学教授）

参加費無料です。
ぜひご参加下さい！



三宮からポートライナー
（市民広場下車）で
10分

連絡先：独立行政法人 港湾空港技術研究所
高潮津波研究室 富田孝史

電話 046-844-5052

FAX 046-844-1274

Email: nagashima@pari.go.jp



神戸国際会議場ホームページ <http://www.kcva.or.jp/kcc/icck/>

高潮津波研究室のホームページ <http://www.pari.go.jp/bsh/ky-skb/tsunami/toppage.html>